

《研究課題名》

当院における唾液腺導管癌の検討

《研究対象者》

2010年4月1日から2021年3月31日までの間に当院耳鼻咽喉科で唾液腺導管癌と診断され一次治療を行った方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》

当院における唾液腺導管癌の検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2023年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 清水猛史

（２）研究の意義、目的について

《意義》唾液腺導管癌は高悪性度の唾液腺悪性腫瘍である。その発生頻度は唾液腺悪性腫瘍の約1%以下である。このため同一施設での検討が少なく、病理学的特徴や術後の化学療法やホルモン治療、放射線治療の有効性やその予後については不明な点も多い。

《目的》当科で一次治療を行った唾液腺導管癌例について、過去の診療録から術前の細胞診検査、術式、術後病理検査結果、病期、術後治療の有無、再発の有無、再発時の治療の有無、経過と予後について検討することで、再発リスクを低減できる治療を考察し報告する。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

当科で一次治療を行った唾液腺導管癌例について、過去の診療録から術前の細胞診検査、術式、術後病理検査結果、病期、術後治療の有無、再発の有無、再発時の治療の有無、経過と予後等について研究者が調査し、検討する。

《利用する試料・情報の項目》

疾患名、性別、年齢、術前の細胞診検査、術式、術後病理検査結果、病期、術後治療の有無、再発の有無、

(4) 個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 **堀井翔平**

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2261

メールアドレス：**hqotola@belle.shiga-med.ac.jp**